

<JIS A 9521:建築用断熱材>

一般に、住宅やビルの壁面・床・天井等を使用される断熱材を「断熱材」と呼び、重化学工業分野の設備やビルの空調衛生設備等を使用される断熱材を「保温材」と呼んでいます。この規格では、住宅及び建築物において、主として常温で使用する断熱材について規定されています。ここでの「断熱材」とは「断熱の目的で使用される材料であり、23℃における熱伝導率が0.065W/(m・K)以下のもの」と定義されています。JIS A 9521に述べられている材料の中から、グラスウール断熱材の特性を要約して以下に示します。

通常品

JIS製品記号	密度 (Kg/m ³)	熱伝導率 W/(m・k)
GW10-50	10	0.050以下
GW10-49		0.049以下
GW10-48		0.048以下
GW12-45	12	0.045以下
GW12-44		0.044以下
GW16-45	16	0.045以下
GW16-44		0.044以下
GW20-42	20	0.042以下
GW20-41		0.041以下
GW20-40		0.040以下
GW24-38	24	0.038以下
GW32-36	32	0.036以下
GW40-36	40	0.036以下
GW48-35	48	0.035以下
GW64-35	64	0.035以下
GW80-33	80	0.033以下
GW96-33	96	0.033以下

高性能品

JIS製品記号	密度 (Kg/m ³)	熱伝導率 W/(m・k)
GWHG10-47	10	0.047以下
GWHG10-46		0.046以下
GWHG10-45		0.045以下
GWHG10-44		0.044以下
GWHG10-43		0.043以下
GWHG12-43	12	0.043以下
GWHG14-38	14	0.038以下
GWHG16-38	16	0.038以下
GWHG16-37		0.037以下
GWHG20-38	20	0.038以下
GWHG20-37		0.037以下
GWHG20-36		0.036以下
GWHG20-35		0.035以下
GWHG20-34		0.034以下
GWHG24-36	24	0.036以下
GWHG24-35		0.035以下
GWHG24-34		0.034以下
GWHG28-35	28	0.035以下
GWHG28-34		0.034以下
GWHG28-33		0.033以下
GWHG32-35	32	0.035以下
GWHG32-34		0.034以下
GWHG36-34	36	0.034以下
GWHG36-33		0.033以下
GWHG36-32		0.032以下
GWHG38-34	38	0.034以下
GWHG38-33		0.033以下
GWHG38-32		0.032以下
GWHG40-34	40	0.034以下
GWHG40-33		0.033以下
GWHG40-32		0.032以下
GWHG48-33	48	0.033以下
GWHG48-32		0.032以下

ホルムアルデヒド記号：F☆☆☆☆

包装による区分の記号：

L：圧縮したもの

H：圧縮しないもの

提供可能な製品寸法(mm)

呼び厚さ：150以下

幅：380～480

長さ：1000～2880

外被材による区分の記号：

FF、FC、FN、CF、CC、CN、NF、NC、NN

記号	外被材、面材または スキン層の種類	外被材の説明
F	輝面外被材付き	はり合せアルミニウム箔、金属蒸着 プラスチックフィルム 等
C	その他外被材付き	透湿防水シート、クラフト紙、穴あき ポリエチレン、ガラス繊維不織布、寒冷しゃ（紗）等
N	外被材なし	